



丑

1/1

2021年
(令和3年)

第350号

発行：BOB会関東支部

BOB会 関東支部 だより

JTBグループ OB・OG会
関東支部〒110-0005 東京都台東区上野1-10-12 商工中金・第一生命上野ビル7階
電話 03-6284-4875 FAX 03-6284-4876
関東支部ホームページアドレス http://jtbob.com/kanto_hp/index.html

新年のご挨拶

関東支部長 金政 初美

明けまして
おめでとうございます。今
年もBOB会
を、よろしく

お願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大で大変な年でした。史上に残る出来事でしたので、少し経過を振り返っておきます。1月16日に初めて国内での感染者が確認され、3月に入ると感染者が増え始め、マスク着用が日常となりました。オリンピック・パラリンピックの1年延期が決まるや、4月7日にまず7都府県、次いで16日に全国に緊急事態宣言が出て、新しい生活様式の実践が求められました。5月半ばに漸く新規感染者が減り、だし、緊急事態宣言も解除され、欧米で続くパンデミックを不思議に思いながらも経済活動再開へと舵が切られ、7月にGoToトラベル政策が打ち出されました。人の動きが活発になるにつれて、再び感染が拡大しましたが、8月9月は一定の増加に留まり、日常に戻るかに見えました。しかし10

支部主催の新年会は中止！

毎年恒例の支部主催の新年会は中止します。新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、安全安心の観点からの判断です。悪しからずご了承ください。

月下旬に北海道で感染者が急増し、すぐさま全国にも波及して危惧された第3波が現実のものとなりました。今、GoToトラベル政策の部分見直しと、再び感染予防に軸足を置くことが求められる事態となっています(12月上旬現在)。

この間、私どもの活動も大きな影響を受けました。支部活動では、6月総会と12月忘年懇親会を残念ながら中止し、秋の作品展も実現を諦めました。地区倶楽部は、ゴルフなどを除き、ほぼ全地区で活動停止の状態です。理事会や世話人会も状況を見ながら実開催と書面開催を併用しています。ただ、同好会の多くは、皆さんの工夫で活動が続けられています。

一方JTBも、かつてない厳しい局面を迎えています。法人事業は社員の創意工夫で、自治体等の様々な事業受注も進んでいるようですが、個人事業は国内こそGoToトラベルによる活発な動きがあるものの、海外旅行は全面停止状態です。11月にはマスコミ報道でご承知のとおり、経費・事業構造改革が打ち出されています。

こうした中、私達は微力ながらもJTB応援に向け、第1弾ナイスギフト、第2弾国内旅行・たびたび・おせち購入キャンペーンを開始しました。

昨年、私の印象に深く残ったことが3つあります。1つは、作品展をやむなくホームページのみで行ったことです。画像だけですから限界があるにもかかわらず、67名、85点の出席をいただき、企画して良かったと思いました。

次にJTB応援について、まだ他の結果は掴めていませんが、ナイスギフトは上半期で昨年の実績を上回り、会員の皆様の後輩を思う心に感動しました。

3つ目、地区倶楽部の活動で、武蔵野倶楽部の秋の「玉川上水を歩く」に他地区の方も多く参加されたとのこと。皆さんの楽しそうな写真を印象深く拝見しました。

さて新しい年ですが、第3波がどうなるか予断を許さぬ状況です。昨年のことを思うと、少なくとも上期は十分な活動はできないのではないかと思います。ただ、前にも書きましたが、私はBOB活動を不要不急のものとは考えていません。BOB活動に限った話ではありませんが、こうした活動は私達の生活に潤いをもたらすし、人との接触が制限されている今こそ必要なのだと思います。経済とは異なり、やらなければそれで済んでしましますが、活動停止が続けば、いずれ組織の活力は失われかねないという危惧があります。感染リスクに十分な注意を払いつつも、できる活動を工夫しながら継続していきたいと思っています。

今一つ、お願いです。お客様紹介運動「BUY JTB」に力を注ぎたいと思います。JTBも十分な営業活動ができる状況ではないので「事前予約制」など利用しにくいこともあるでしょうが、多少のことは理解して、後輩達を応援していきたいと思っています。ご協力方、よろしく願います。ご協力、最後に、新しい年が良い年となることを祈ります。歴史を見ても、

人類は幾度となく疫病に悩まされてきました。しかし、そのたびに克服し、現在に至っています。明けの夜はありません。

本部主催イベント 多くの会員が入賞

第4回全国俳句大会

全国から昨年より多い48名、96点の応募がある中で、支部会員2名が入賞しました。

兼題は、雲の峰、打水、鳳仙花。

兼題部門

入賞

絵筆取りゴッホのように雲の峰

森本 茂子さん

自由題部門

入賞

緑陰を妻に従い散歩する

鈴木 治嗣さん

第7回全国フォトコンテスト

優秀賞1名、準優秀賞5名が入賞しました。

優秀賞

「しゃぼん玉と少女」

森本喜美子さん

準優秀賞

「ツバメの子」

山腰 和伸さん

「春らんまん」

井上 敬さん

「朝日を浴びて(陽光校)」

小林 哲二さん

「その先は？」

鈴木 憲治さん

「モロッコの路地裏(老婆)」

杉 孝さん

詳細は、本部ホームページ／本部からのお知らせ／本部イベント情報を参照 (<http://jtbob.com/>)。

第28回『作品展』開催中

「関東支部ホームページ」会員の広場に掲載

今年の作品展は、BOB会事務局の移転に伴い、天王洲ビルの方々に移転し、現役社員の方々に協力をお願いした。しかし残念ながら、コロナ禍により、ホームページ上でのみ開催するという異例の形となりました。

画像ですので、手芸だけでなく、絵画や書も微妙な色合いや質感・迫力等を十分お伝えすることはできないかもしれません。それにもかかわらず、会員の皆さんから85作品という、大変多くの出品をいただきました。ありがとうございます。

送っていただいた画像データのトリミングや、依頼された作品の写真撮影には留意したつもりです。ぜひ、旧知の皆さん方の秀作・力作をゆっくりご鑑賞ください。

11月9日に全作品をホームページに掲載してから、12月5日までの約1カ月間で、延べ229名の方に作品展・菊花展のページをご覧いただきました。

なお、来年度の作品展が通常どおり開催できることを祈念します。今回、出展いただいた67名の皆様は次の方々です。

◇出展者（順不同・敬称略）

【絵画】

斎藤百代 高須真実子
多賀谷恵三 内藤錦樹 中根三郎
橋本恵美子 安田 彰

【書】

大沼一夫 鈴木美枝
平山正徳 水口尊江 安田 彰
安武清信 吉田和子 行木恵子

磯野 茂 川口葉子 松田正美
田村邦夫 鈴木久子 加藤不二男
久留和子 杉田慎子 成田容子
森田真弓 井上 敬 小林哲二

【写真】

斎藤百代 杉田成次 鈴木憲治
須藤 稔 田辺 弘 船塚和雄
本名義光 森本喜美子 和田重幸
金政初美

【手工芸】

中島里江 安西美津子 五十嵐力
増田 信 福嶋初江
【俳句・皐月会】 鷺澤典子
森木茂子 行川春枝 吉田勝彦
田中君子 高宮澄子 岡野早百合
大庭秀雄

【川柳・やぐるま】

北濃祥二 長谷川政榮 岡田秀雄
荒井春雄 竹田圭子 丸木正登
横山信之 手塚 実

【家庭菜園】

井上 肇 宮嶋 恂
【菊の会】 長谷川英美 小菅時夫
岡部禎之 井上恵司 和田達夫

ホームページでの菊花展

例年の菊花は、セットした飾り棚に飾りますが、今年はコロナウイルスの影響で、ホームページ上の掲載による展示となりました。菊苗から育て始めましたが、梅雨明けがかなり遅く、明けた後に猛暑が続く、着蕾の頃は雨が多く、全体的に生育が悪い状態でした。このような状況ながら、各自1本を事務局に持ち寄り、菊花展の準備をしました。支柱への幹の結び付け方、輪台の付け方、花弁の整え方など、師範役の手ほどきに従い全体を整えた後、白いシートを敷いた会議用机の上に菊花を陳列して、西山副支部長に写真撮影していただきました。

なお、菊花名など短冊の筆書きについては、新井譲さんにご協力いただきました。



◇出展菊花

《厚もの》

井上 恵司「彩胡泰平」白
岡部 禎之「国華卒寿啓」濃赤
宮嶋 恂「国華大日」赤
小菅 時夫「国華金山」黄
長谷川英美「精興大臣」黄
《管もの》
和田 達夫「泉郷金糸」黄
(世話役 宮嶋・阿部・北垣)

倶楽部だより

第110回記念大会ゴルフ

なんたい倶楽部（募集）

期日 2月17日(水)
場所 太平洋クラブ

◎参加者募集一覧

お申し込み、お問い合わせはBOB会事務局へ。

実施日		内 容		主催
1月	7日(木)	「開運」荏原七福神巡り	(中止)	東京23
	15日(金)	成田山初詣と新年会	(中止)	なんたい
		関東支部新年会	(中止)	関東支部
2月	7日(日)	蕎麦打ち体験と試食会		なんたい
	18日(木)	東京23倶楽部発足20周年記念懇親会	(中止)	東京23
	25日(木)	第3回健康ボウリング大会	(中止)	京葉

集合 7時50分
スタート 8時35分
募集 4組16名
費用 プレー費 8500円
(諸税・昼食込)
参加費 男性1500円
女性1000円
締切 2月10日(水)
担当 百戸 正行
090(6515)0672

第87回ゴルフコンペ

ときわ路倶楽部（募集）

期日 2月19日(金)
場所 グランドスラムCC
集合 8時20分
スタート 9時
募集 5組20名
費用 プレー費 4620円
(諸税・昼食込)
参加費 1000円
締切 2月5日(金)
担当 大谷 広一
090(3096)9870

なんたい倶楽部

蕎麦打ち体験と試食会

開催日変更のお知らせ

11月号のご案内していますが、会場の都合により2月6日(土)を2月7日(日)に変更いたします。



担当 船山 里子
090(8774)1440
第106回なんたい杯ゴルフ(報告)
10月21日、秋晴れの中、憧れのセブンハンドレッドクラブにて、13名の参加者で開催しました。コロナ禍で、半年ぶりに参加された大御所数名も、池越えホールなどに苦戦しながらも大いに楽しまれたようです。加えて、その大御所のうちの1人が優勝しました。成績は次のとおり。
優勝 藤枝 宣夫さん GHN 99 23 76
準優勝 川田 和夫さん 90 13 77
3位 塩沢 直子さん 110 32 78 (百戸 記)

第107回なんたい杯ゴルフ

(報告)

11月18日、木々の紅葉も最後の美しさを魅せる中、G7カントリ倶楽部にて、11名の参加で開催しました。

和気藹々と楽しいゴルフで、コロナ撃退と里の秋を満喫しました。優勝は、毎回期待されていた松本さんが勝ち取りました。

成績は次のとおり。

優勝	松本 一人さん	G H N
準優勝	林 守さん	108 33 75
3位	川田 和夫さん	94 16 78
		90 11 79

(船山 記)



武蔵野倶楽部

玉川上水を歩く(第2回)

拝島から鷹の台(報告)

11月10日、よく晴れた朝、集合場所の拝島駅構内から富士山の雄姿を望むことができました。総勢26名はガイド役の野口巻夫さんの案内を耳にしながら、鷹の台に向けて11kmの路程を歩き始めました。玉川上水のせせらぎと落ち葉を

踏みしめる音。秋の散策は爽快でした。残堀川と交差する場所、玉川上水は残堀川の下を潜っているとの解説に驚きました。サイホンの原理を利用した立体交差です。玉川上水駅近くの「木曽路」で昼食をとり、後半は小平監視所から玉川上水と新堀用水とに挟まれた緑道を進みました。「こもれびの足湯」にてしばし休息。その後現在のシールド工法に似た胎内堀(ほっこぬき)で流れを通した保存箇所を見学。途中から高校生の下校集団と一緒にしながら無事終着点の鷹の台駅に到着しました。筆者の万歩計は2万4千歩でした。次回第3回(鷹の台から小金井公園付近)は桜の咲く時期に、第4回(小金井公園付近から井の頭線富士見ヶ丘駅)は新緑の季節に歩く予定です。

なお、第1回、第2回の「漫遊フォト日記」を関東支部ホームページに掲載中ですので、ご笑覧ください。(山田 記)



ときわ路倶楽部

第84回ゴルフコンペ(報告)

11月13日、日立高鈴ゴルフ倶楽部にて、20名の参加で開催しました。秋晴れの中、紅葉も盛りを迎え、コースコンディションも良く、楽しくプレーできました。

成績は次のとおり。

優勝	内田 久雄さん	G H N
準優勝	小針 務さん	92 26 66
3位	八巻 信喜さん	84 11 73
		83 9 74

(大谷 記)



常磐倶楽部

第70回ゴルフコンペ(報告)

11月30日、霞台カントリークラブ筑波コースにて、15名で開催しました。コロナ禍で直前の取り消しもあり、70回記念としては少し寂しい感もありました。暖かく無風で、最高のゴルフ日和でしたが、皆グリーンに苦戦しました。全員当倶楽部恒例の参加賞、行方の卵2パックを手には解散しました。

成績は次のとおり。

優勝	井内 貴明さん	G H N
準優勝	野間口 健さん	99 21.6 75.4
3位	原田 隆昌さん	101 24 77
B G	原田 隆昌さん	89 12 77

(西袋 記)



にいがた倶楽部

第2回にいがた街歩き(報告)

11月12日、11名の参加で開催しました。今回はガイド2名の解説付でした。

まず最初にNEXT21展望ラウンジから街並み全体を把握し、古町花街にまつわる説明を聞いた後、狭い小路を抜けて花街独特の造りの建物を見ながら、旧齋藤家別邸まで進みました。ここは正時代に建てられた豪商の別荘ですが、各部屋の造りや装飾もさることながら、1300坪の庭園の『紅葉の錦』が最高のタイミングで迎えてくれました。

この後、料亭「いづみ」にて名物の釜飯を昼食にいただき、散会しました。

ました。皆さん、日頃の運動不足やストレス解消ができたようです。

(高橋 記)



同好会だより

皐月会(俳句)

11月の互選句

11月の兼題は「冬灯り・自由」

山里の夕暮はのか冬灯り

大庭 英雄

潮騒は海のささやき貝の歌

岡野早百合

ハロウィーンの四十八年待てぬ月

森木 茂子

冬の夜灯りぼつんと無人駅

田中 君子

浮寝鳥影を落して入日かな

吉田 勝彦

冬の日にさざめく木立群れ雀

富岡 遊生

冬の夜静かにともる灯へ帰る

高宮 澄子

山茶花の賑わう朝に施設入る

行川 春枝

やぐるま(川柳会)

11月の互選句

11月の題は「不安定」

祈るだけ活断層の上に生き

手塚 実

うっかりと布団干せない空模様

丸木 正登

大国も自粛守らず不安定

横山 信之

コロナ禍が招いた生活不安定

岡田 秀雄

妻と我心身共に不安定

北濃 祥二

不安定な気持ちを静め日々生きる

荒井 春雄

快復へ心が焦り夜が長い

竹田 圭子

施設では外出禁止ウツになる

長谷川政榮

(手塚 記)

会員だより

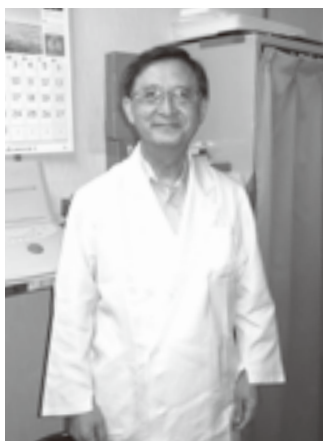
新型コロナウイルス感染症の

医療現場の片隅から

武蔵野 来間 幸夫

JTB定年退職後、縁あって埼玉県北本の小さな医療機関・福音診療所で働き始めて9年になります。担当は金庫番(事務長)で、雑多な業務をしています。

今一番大きな課題は、新型コロナ



ナウイルス感染症の終息が見えない中での厳しい運営です。一昨日、最後の患者さんが、無症状で発熱はなく、ただ味覚・臭覚障害がある方でした。車内で待機していただき、ベテラン看護師が対応しました。症状を聞き、診察室にいる医師と連絡を取り、薬の処方をしてPCR検査をしている医療機関を紹介しました。翌日、保健所から電話があり陽性であることが判明。対応した看護師・事務職員ともフェイスシールドとマスクを着用しており、短時間でしたので、濃厚接触者とならずに済みました。ウイルスは脂質の保護膜に覆われたたんばく質分子で、これが眼・鼻・口の粘膜細胞に付着すると突然変化し、倍々方式に増え、体内に侵略するという厄介者です。寒さも加わってインフルエンザ感染と重なり、発熱患者が増加してきました。100年に1度のウイルス感染症であり、我々はマスク・手洗い等、初心に返って賢く行動することが大切だと思います。

支部だよりの編集を担当して

さきたま 松井 文雄

出会いはJTBを完全退職した2011年6月でした。突然元上司から「支部だよりの手伝ってほしいと電話をいただき、断り切れずに承諾! 関東支部の理事として、支部だよりの担当の職務が始まりました。

編集にあたっては、皆様の交流と親睦のための紙面として「より多くの記事を読みやすく、わかりやすく掲載する」を目指してきました。



毎号の編集工程をご紹介します

と、まず①原稿集めです。原稿は約30〜40点前後ですが、足りない時は大変苦勞します。次に②原稿整理です。自宅にてPCで作業します。基準は常用漢字で、誤字はもとより、支部だよりの掲載パターンに整理・添削します。続いて③レイアウトです。見出しが左端になったり、記事の1行だけ右端になったりといった調整に苦慮します。いよいよ④出稿です。原稿と写真をまとめて、共用サーバーにアップして印刷会社へ送ります。数日後⑤校正です。特に名前と数字には気を配り、3回〜4回程印刷会社とやり取りして校正します。校了に至った時の達成感に似た解放感は何とも言えません。

昨年6月の退任まで9年間に渡りましたが、皆様のご協力により、特集号4回を含めて103号を数えました。私にとっては、支部だよりの通して多くの方々との交流と親睦を図ることもでき、かけがえのない宝物となりました。皆様ありがとうございました。

我が故郷、信州松代

京葉 多々良 正子

松代は史跡、古刹が多く点在する真田十萬石松代藩の城下町です。近くの川中島古戦場や善光寺が有



松代城址

名なため、あまり目立ちませんでしたが、2016年NHK大河ドラマ「真田丸」放映後は「六文銭の里松代」として街歩きする人も多くなりました。

そんな故郷で今回ご紹介するのは「松代大本営跡」です。太平洋戦争終盤、1944年7月のサイパン陥落後、本土決戦が現実味を帯びてきた頃、陸軍が中心となり松代へ皇居、大本営、政府重要機関などを移転することが閣議で了承されました。象山、舞鶴山、皆神山を削岩し、地下壕に移転するという壮大な計画でした。

同年11月、工事開始。発破で崩した石屑をトラックで運び出す人海戦術で、日本人および動員された朝鮮人労働者、学徒動員、勤労奉仕隊など300万人、総工費2億円が投入されました。終戦までの9カ月間の突貫工事で、地下壕は10km余り、全工程の75%が完成しました。松代が選ばれた理由は諸説ありますが、10t爆弾にも耐え得る硬い岩盤で掘削に適していたこと、海岸線から遠く山に囲まれたことではなかったかと思えます。

現在、跡地の舞鶴山地下壕には日本最大規模の気象庁松代地震観測所が、象山地下壕には信州大学

宇宙線観測施設があります。こちらの地下壕の一部は一般公開され、格子状に掘り抜かれた500m程を見学することができます。

お客様紹介運動の

ご協力いただいたのは次の10名の方々です。(敬称略)

〔10月出発分〕

小倉 勝 奥村明美 東海林文雄

樋口 弘 谷島 久 多々良正子

土屋洋一 奈良 晋 小林富子

松井浩一

〔JTBナイスギフト〕

ナイスギフト購入者は次の8名の方々です。(敬称略)

〔10月分〕

鈴木恵子 中島嘉秋 田中 晟

濱野キヨ子 松本 一 山場利雄

生沢弘幸 多々良正子

〔新入会員を〕

BOB会に新たに入会された1名の方をご紹介します。

〔11月〕

いわき市 四家 正直さん(ときわ路倶楽部)

計 報

森田 勝治さん (78歳) 令和2年5月4日

高橋 典男さん (77歳) 令和2年11月12日

三田 久郎さん (77歳) 令和2年11月20日

謹んで心からお悔やみ申し上げます。